

処理を考える(22)

先月の問題から

前回の「？」の問題で、最初の《？》はそのまま「ギモンフ」と読んでも意味は伝わりますが、後の《？》は、そのまま読むとちょっとひっかかりますね。「？と」を省略してしまう方法もあるでしょう。語尾に付いている？は、語尾を上げて読む処理で通じるでしょう。

暖簾の由来の例文では漢字の処理が問題でした。

ここで問題になるところは漢字を問題にしているところでしょう。ここでは『……ノートのこう書いてくれた。「暖簾」……』の箇所と『それまで「暖簾」と書いて「ノレン」と自然に読んでいたが……』の二ヶ所です。表記も個々だけは「」が付いていますので「ノレン」の字を問題にしています。ここを「ノレン」とそのまま読むと、「ノレン」の字を「暖い」「簾」と書くことを知っていないと意味が通じません。後の文章にも「暖かい簾」という言葉がでてきますので「暖かいに簾」と書くことを分らせて置くことが必要でしょう。

「第一次外来文化である中国文化」では、「キュウリ」は字は「コウリ」と書くが読みは現在中国で使われている漢字「黄瓜」つまり「キーウリ」から来ていることが分かるように読む必要があります。

「……胡椒、胡麻、胡瓜……みなそうだが、胡瓜にかぎっていえば、いまの中国では「胡瓜」ともいうが「黄 瓜」のほうが一般的である。日本では中国の古い言い方である「胡瓜」がそのまま残っているのである。」アンダーラインのどちらからで「キュウリはコノウリ」と書くことを補足する必要があります。また中国の読み方の後に「フーグワ、コウリ」「ホワングワ、キイロイウリ、キー、ウリ」と漢字も説明しながら読む必要があります。

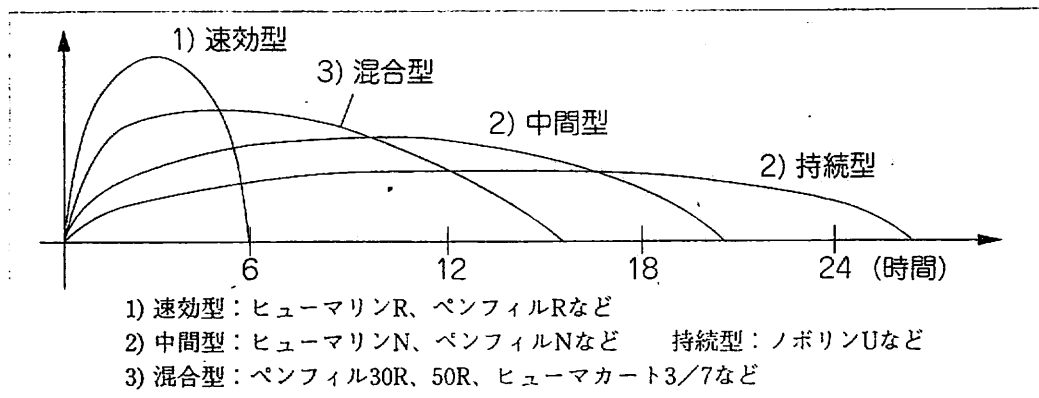


図1 インスリン製剤の作用時間

(図1の例)

『図1 インスリン製剤の作用時間 説明 インスリン製剤の四つの型の作用時間を示した曲線グラフです。四つの型は、速効型(ヒューマリンR、ペンフィルRなど) 混合型(ペンフィル30R、50R、ヒューマカート3/7など) 中間型(ヒューマリンN、ペンフィルNなど) 持続型(ノボリンUなど)です。作用時間は短い順に速効型が6時間、混合型が15時間、中間型が20時間、持続型が26時間です。作用時間の短い順に効き目は早く表れます。説明終わり

★挿入場所 (4P-7行目) のあとに入れる。

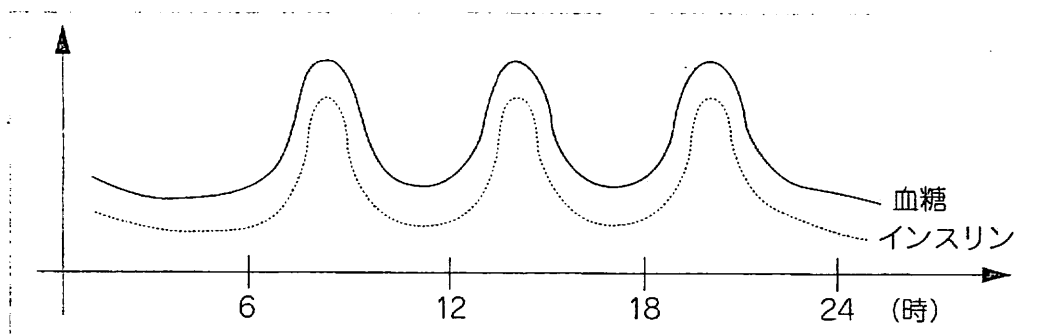


図2 健康な人の血糖とインスリンの変化

(図2の例)

『図2 健康な人の血糖とインスリンの変化。説明 健康な人の血糖とインスリンの1日の変化を示した曲線グラフです。血糖もインスリンもほぼ同じ形の波形を描いておりピークは8時、14時、20時です。説明終わり。』

★挿入場所 本文の3行目・・・のようになります。のあとに入れる。

編集ホラン
ティア募集

盲人情報文化センターでは蔵書になる録音図書は編集をしています。編集の仕事は校正も兼ねながら、雑音を取ったり、レベルを合わせたり、トーンインデックスを入れたりする仕事です。機械操作は週1回2時間のレッスンで2ヶ月くらいかかります。編集作業に興味をお持ちの方は録音製作の清水までご連絡下さい。

二通りの読みがあって意味が異なるもの (51)

| | | | |
|----|--|----|--|
| 内面 | <p>ナメ 物事の内側、内部</p> <p>ウヅラ 家族や内輪の人にみせる顔つき。</p> | 内蔵 | <p>ナゾウ その物の内部におさめ持っていること</p> <p>ウヅラ 古代、朝廷の官物を納(ウヅラ)めた蔵、三蔵の一つ。(ウヅラ)律令制で内蔵寮となる</p> |
| 台 | <p>ウヅラ 高殿、高樓土を盛って築いた高見台</p> <p>ダイ 物をのせるための、又、人がのるために使うもの、物の基礎、土台となるもの。車両や機械などを数えるのに用いる。</p> | 産生 | <p>サノイ 生産。特に細胞による高分子物質の生合成抗体や毒素についていう。「抗体産生」</p> <p>サンショウ 出産すること。また、生まれること。</p> |
| 強力 | <p>キウキョク 強い力や作用をそなえている(発揮している)こと。</p> <p>ゴウキ 力が強いこと。また、そのさま。修験者が連れ歩いて荷物を持たせる下男。登山者の荷物の運搬や案内をする者。「…犯」殺人罪など。</p> | 開口 | <p>アケ 足袋・脛当・沓などの(アケ)足を入れる口</p> <p>カノウ ものを言い始めること。壁・床・屋根などにあけられた口の総称</p> |

『言葉に關する問答集』文化庁編より

「茶道」は「サドウ」か「チャドウ」か

(答)「茶道」の発音は、「サドウ」か「チャドウ」かという問題である。

「茶道」は「さどう」とも「ちゃどう」

とも読み、また、「茶道」という語自体、二通りの意味をもっているのです。これらが互いにかみ合っていて、少々複雑である。

まず「さどう」とは、多くの辞典の説くところによれば、

① 茶の湯（の道）。……これを、「ちゃどう」ということもある。

② 近世、武家で、給仕・接待・茶の湯のことをつかさどった役、また、その役にある人。これを「茶頭」とも書く。また、ちゃぼうず さどう ちやや ちや茶坊主・茶道坊主・茶屋坊主・茶職・すまみや数寄屋坊主などということもある。……これを、「ちゃどう」ともいう。というふうにもとめることができる。

次に、「ちゃどう」とは、

③ 「さどう」の①と同じ。……これを「さどう」ともいう。

④ 「さどう」の②と同じ。……これを「さどう」ともいう。

ということである。結局のところは、<「ちゃどう」は、「さどう」に同じ。>であって、「さどう」を言おうと、「ちゃどう」と言おうと、ごく簡単にいえば①茶の湯（の道）と②昔の武家の役職名の一つ、また、その人、という二義があるわけである。しかし、現代語としては、②は全くといってよいほど使わないから、ここでの問題は、「茶の湯（の道）」のことを「サドウ」というか、「チャドウ」というかということになる。

昭和23年の内閣告示「当用漢字音訓表」では、「茶」には「チャ」の音だけしか掲げていなかった。したがって、音訓表に忠実に従えば「茶道」は「チャドウ」であり、喫茶店は「キッチャテン」ということになる。当時発行された多くの国語辞典では、「きっさ」、「さどう」の見出し語に、「茶」には表外音訓の印を付けて「喫茶」、「茶道」としていた。また、表記辞典の類では、「喫さ」、「さ道」などとしなければならないことからか、「きっさ」、「さどう」を見出しとして立てていないものも多くあった。つまり、「きっちゃ」・「ちゃどう」は、現代語としては世間一般に用いられにくかったようである。

NHKでは、昭和40年初版の『NHK用字用語辞典』の「ことばの表記について（基本方針と原則）」の「原則」において、

くなお、次のような熟字などの場合は、漢字で書いてもよい。「当用漢字音訓表」の使用上の注意事項参照。>として、語例の一つに、「茶（チャ）→喫茶店（キッサテン）」を掲げており、本文に、「きっさてん 喫茶店」、「さどう 茶道」とある。なお、昭和二十三年内閣告示の当用漢字音訓表の使用上の注意事項には、茶を「サ」と読む語例は掲げていない。更に、NHKは、昭和44年度版の『放送用語ハンドブック』において、「茶道」の発音について、「サドー」・「チャドー」の両形を認め、うち「サドー」は、音訓特例であるとしている。

<茶の湯の道のことを茶道（引用者注：「さどう」というのは江戸時代まではまれであり、また、茶頭（引用者注：「さどう」と）との混同を避けるために「ちゃどう」というのが普通であった。>（『日本国語大辞典』「さどう」の項による。）ということで、明治以降の諸辞典では、「さどう」、「ちゃどう」共に本項目として語釈を施しているものが多く、また、「ちゃどう」の項において、「さどう（さだう）」の形を掲げているものが多い。しかし、昭和30年代になると、「ちゃどう」を参照見出しとして、語釈を「さどう」に譲っている辞典も何種か刊行されている。

また、『原色茶道大辞典』（淡行社刊、昭和51.4.8版）では、その「茶道ちゃどう」の頁において、<因みに、茶湯に因んで茶道が起こったのだから、「チャドウ」と訓まれるべきものだが、禅院茶湯の伝統だとして「サドウ」の称も主張され、これまた両者が行われている。>とある。

以上のべたところからみて、現代語としての茶の湯（の道）の意の「茶道」は、どちらかといえば、「サドウ」の方が一般的な言い方であるとみてよいであろう。

利用者から製作依頼を受けている原本

以下のリストは、読者から音声訳の依頼を受けている本です。引き受けて頂ける方がありましたらご連絡ください。初めてのグループの方は何か5分でも結構ですから録音したものをご持参下さい。録音状態をチェックさせていただいてから録音にかかっています。

書 名 <分類>

- 『福祉国家はどこへゆくのか 日本・イギリス・スウェーデン』
アサー・ゲルト著<社会科学> A5判 266頁
- 『薬の手引き 病院でもらった薬がわかる』平成8～9年の一部分
梶淵幸吉著 <医学> B5判 100頁
- 『シバ謀略の神殿』ジャック・ヒギンズ著 <小説> A5判 250頁
- 『黄金の少女5』平井和正著 <小説> 文庫本198頁
- 『腎臓病の生活ガイド』平田清文著<医学> B5判 215頁
- 『循環器病の診断と治療』大阪府立成人病センター編 <医学> A4判 300頁
- 『わたしの怖い体験 本当にあった心霊現象』<心霊研究> 文庫本220頁
- 『ディスカバリー世界の真相への接近』<宗教> B5判 308頁
- 『現代の聖餐論』神田健次著<宗教> B5判 360頁
- 『目で見るとリハビリテーション医学』 <医学> A4判110頁
- 『ヨセフとその兄弟 II』 <宗教> B4判 620頁
- 『ヨセフとその兄弟 III』 <宗教> B4判 562頁

今回引き受けて頂いた 原本とグループ

| | |
|----------------------------|---------------|
| 『ネアンデルタール』 ジョン・ダントン著 | |
| 『空海の靈言』 善川三朗著<宗教> B6判 218頁 | みなわ |
| 『永遠の法』 大川隆法著 | " |
| 『ダーティホワイトボーイズ』 スティーブ・ハンター著 | " |
| 『聖なる酒場の挽歌』 ローレンス・ブロック著 | テプライブラリーにしのみや |
| 『全国短歌会・まつもと作品集』 | " |
| 『気で治る本 日本の〔気の医療〕最前線〕<医学> | " |
| | ICCBリクエスト |

お知らせ

★ 専門音訳講習会（東洋医学コース・図表コース）のご案内 ★

東洋医学コースは97年9月より、図表コースは97年11月よりそれぞれ10回の予定で講習会がスタートします。

グループへは申込用紙を同封しています。振るってご参加ください。

東洋医学コース 日時： 9月12日（金）～ 98年2月27日（金）
15時～16時30分（毎月第2, 4金曜日）
試験日：9月5日（金）2時～3時

図表コース 日時： 11月29日（土）～ 98年2月14日（土）
10時30分～12時30分（毎土曜日）
試験日：11月8日（土）10時～12時

尚、点字図書館および公共図書館には、別途、近畿視情協事務局より聴講生の派遣依頼も行っています。点字図書館、公共図書館に所属されているグループの方は所属館へもお尋ね下さい。

8月の『ろくおん通信』はお休みです。